



TANEBI STORY

14時～

ご挨拶

14時15分～

みいちゃんの今後

14時30分～

株式会社TANEBI 事業説明

14時50分～

ハンデある若者を第3の就労の道へ
支援される側で終わらない

～ジュニア社長100名の新たな雇用を作る～

みいちゃんの「教えない教室」 デモ体験

15時半～16時 質疑応答

みいちゃんの今後

みいちゃん 12歳

2020年1月OPEN



みいちゃん 18歳

2026年3月卒業



Mizuki





Mizuki



伝えたい事

学校は行けなくてもいい

世の中の常識は無視していい

親や先生の言う事はきかなくてもいい

ワクワクする事を探す事

選択肢を2つ以上持つこと

目の前の事でなく
将来の自分(わが子)を
想像する事

仕事をして
お給料をもらっている
自分(わが子)を想像する事

「働く」という事を
早くから意識する

私の振り返り

どうやって
社会参画させれば
いいのか

動けない



やりたい事がみつからない



見つけられる環境を作る



やりたい事・発想が芽生えて
～自分で考える～



自分で作ったお菓子を売りたい





資金・資格・スキル

必要

資金

プロジェクト

活動レポート 25

応援コメント 132

♡ 177



Ⓢ 応援購入総額

Success!

2,476,000円

目標金額 1,000,000円

247%

Ⓢ サポーター

297人

⌚ 残り

終了

終了しました



障害があっても関係ない！小6の人気パティシエみいちゃんの夢、菓子工房を開きたい！

#社会貢献 #子ども #フード #スイーツ #

クラファンで資金集め

資格



資格



製造場所を作る

スキル



独学

スキル



母が通学

The background of the image is white, decorated with several semi-transparent green circles and dots of varying sizes. The circles are layered, creating a sense of depth. The text is centered horizontally and vertically.

「きっとできる」

資金・資格・スキル

不要



—会社名—

株式会社TANEBI

代表者 杉之原 千里

—所在地—

〒523-0015 滋賀県近江八幡市上田町1257番地18

—事業内容—

教育・雇用・福祉・文化を横断する「プロデュース業」
～生き甲斐をデザインする会社～

—主要ブランド—

- ・みいちゃんのお菓子工房
- ・TANEBI STORY
- ・教えない教室

(社名)TANEBI(種火)への思い

- ・始まり・きっかけ

火を起こす最初の火 何かが生まれる直前

- ・小さいけれど、消えたら終わる

か弱い、繊細 大切に育てる必要がある

- ・文化やムーブメントの源

キャンプの焚火の最初の火

- ・火種＝可能性の塊

まだ小さいのに、大きな炎に化ける潜在力



TANEBI STORY



～生き甲斐をデザインする会社～

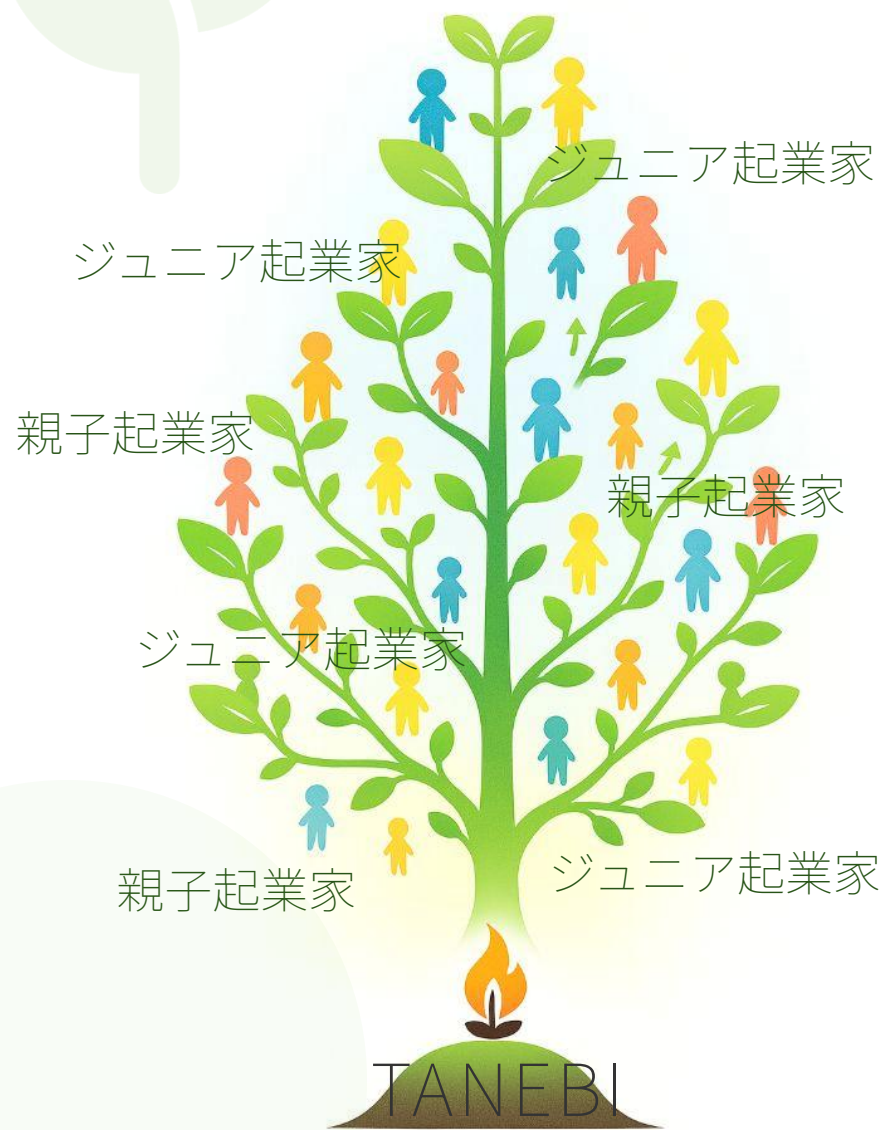
弱さを持つ人が“価値提供者”に進化する
社会変容型プラットフォーム



TANEBI STORY コミュニティ

親と子が同時に学び合う場
友達を作る場
自分の役割を見つける場
仕事をする場

生き甲斐デザイナー



ジュニア起業家の育成

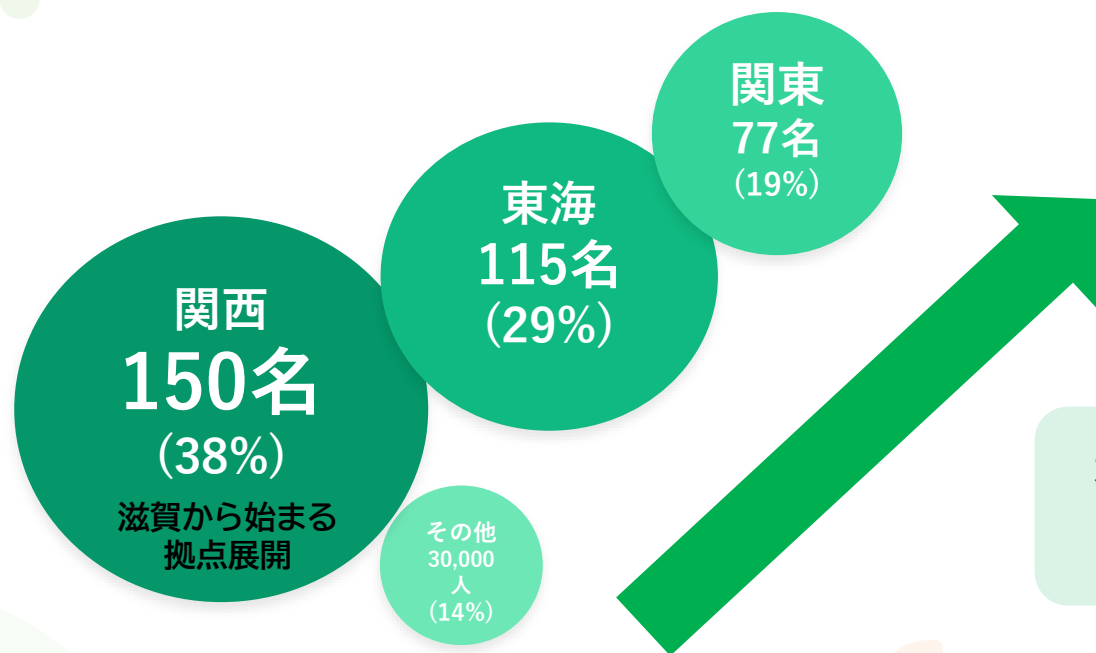
一人ひとりの生き甲斐が
社会に枝を広げ
自然に育っていく



TANEBIは、みんなの踏み台でありたい

「ジュニア起業家」育成

～滋賀からエリア展開～



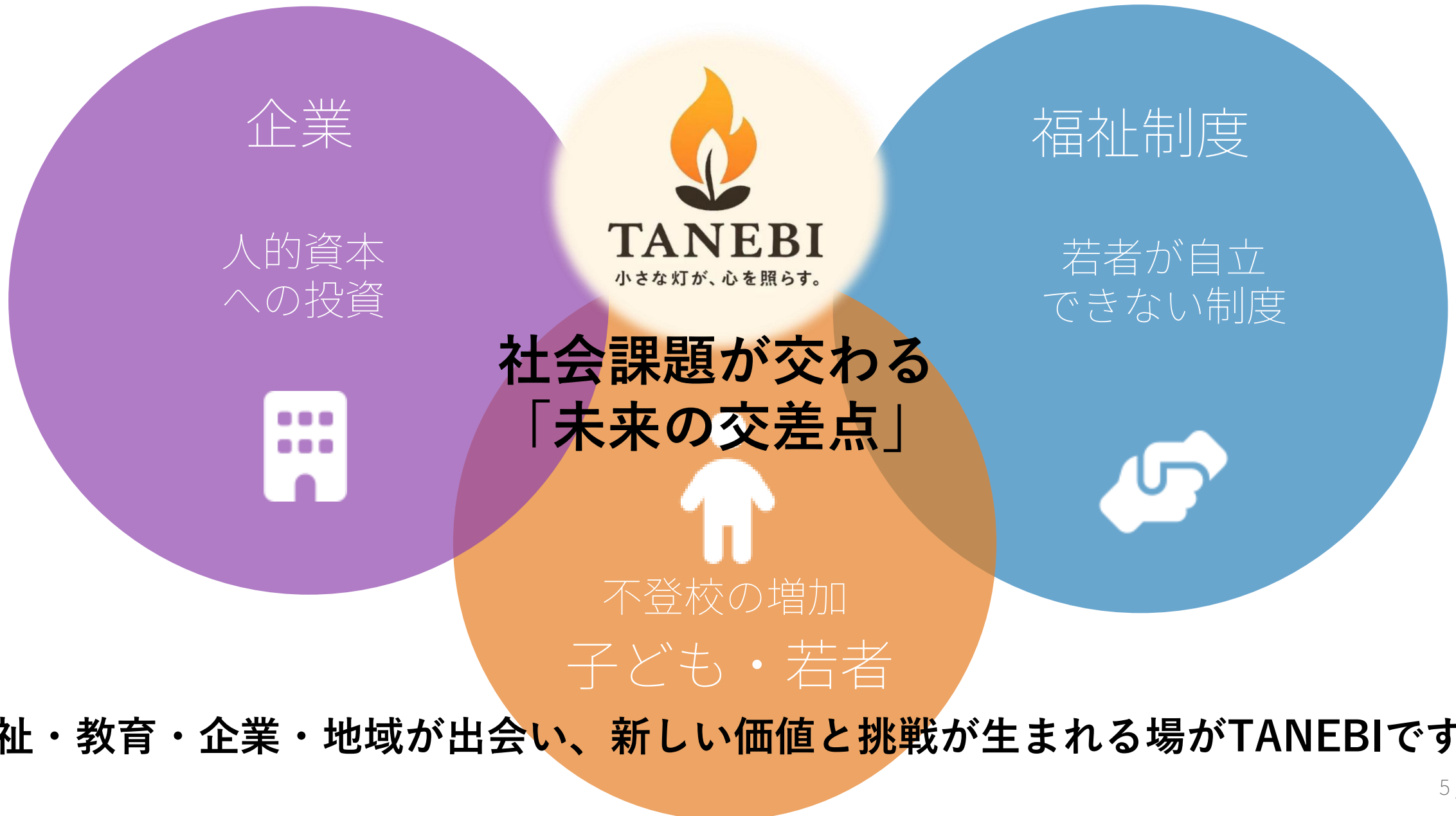
展開地域 **3** エリア

10年で ジュニア起業家
400 名

5年で ジュニア起業家
100 名

関西を中心に全国に広げる 福祉事業からの卒業
弱者自立のムーブメント

解決したい社会課題



福祉・教育・企業・地域が出会い、新しい価値と挑戦が生まれる場がTANEBIです。

みいちゃんから広がる 新しい未来のかたち



精神的自立



TANEBI STORY

A型就労支援

一般就労

B型就労
支援

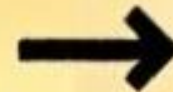
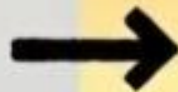
金銭的自立

福祉制度

卒業・自立



TANEBI STORY



見えない
聞こえない
話せない

ないことが あることへ
感じることから始まる



Mizuki

●えんない教室

① 視覚の遮断

視覚を奪うと、人は本能的に・**触覚・嗅覚・聴覚・身体感覚**を総動員しようとする。

これは“できない”のではなく

「別の入り口から世界を感じにいく能力が発動する」という現象

多くの大人はできないことが増えると「自分(わが子)はダメだ」と解釈する。でも、本当は**“眠っている感覚”が動き出している**だけ。

② 視覚が強すぎる社会

生きづらさ＝劣っているのではなく、“感度が高い証拠”

視覚が強すぎる社会で生きると

「見た目の成功」「正解の早押し」ばかりが評価される。

でも、目を閉じてクッキーを触る時、触って、聞いて、匂いを感じて、微細な差異をキャッチする。これは弱さではなく 才能。

あなた(わが子)がつまずいてきた場所は、才能の入口。

③「無理に整えない世界」の中で、人は初めて自由^{自由}に動ける

みいちゃんの教室は、正解を教えない・手助けしない・揃えようとしない。だから参加者は「自分のやり方で動く^{動く}」という体験を得る。

これは、普段の学校や支援では得られない

“自分という軸^軸”を取り戻す工程。

④完璧より、**感覚が動いた瞬間**のほうが価値がある

クッキーの形が歪んでいてもいいんです。
それこそ価値だからです。

理由は2つ

- ・失敗を通じて生まれた気づき”は、成功より深く残るから。
- ・形よりも、**心が動いた経験のほうが未来の行動を変える**から。

今日上手くできたことより、心が動いた瞬間を大切にしてほしい。

“できない”のではなく、まだ社会が「生きずらい若者」たちの感性の使い方を理解していないだけ。

みいちゃんは“できない”のではなく
自分が持っている感性の使い方を理解し、そのような環境があっただけ

親子のマインド転換が必要



2026年 一期生 開講

① 役割を持てる

不登校・障がい・生きづらさ抱える若者

“支援される側”と見られてきた若者

「できない」「自信がない」で止まっていた親子

→ “役割を持つ当事者”に変わる

福祉と教育を超える第3の居場所

ブランド化

認定制



TANEBI STORY



みいちゃんのお菓子工房

- ①1年間の伴走(月会費 1万円/1組)
- ②毎月1回 オンラインにて講義(アーカイブあり)
- ③みいちゃんのお菓子工房の開放
- ④コミュニティ参加 質問随時可
- ⑤みいちゃんのイベント助手
- ⑥みいちゃん親子とのランチ会・交流会開催
- ⑦みんなで自分たちの仕事を作る
- ⑧親も新しい仲間、別の役割を見つける
- ⑨一緒に作っていく(ワクワクな環境)
- ⑩チームプレイ エリアプレイ

今日の資料提供(11月25日)



アンケートのご協力依頼



coloridöh



世界特許申請中



アレルギーフリー（TOP28種）、グルテンフリー
保存料なしで安心。

ニュースピックス

『Money Make Survive (メイクマネーサバイブ)』で パーフェクトディール達成！

2025年9月9日



シリコンバレー生まれ&世界初の“粘土クッキー”にホリエモン絶賛&国際特許も…

NewsPicks / ニュースピックス · 4194 回視聴 · 2 時間前

注文を まちがえの 料理店

RESTAURANT OF MISTAKEN ORDERS



RESTAURANT of MISTAKEN ORDERS™



SPREADING TO THE WORLD

Restaurants, cafes, ramen noodle shops... People across Japan and even in South Korea, China and Canada have taken this idea onboard and started their own initiatives.



The Restaurant of Order Mistakes
- The "Old Wall" Kyoto



Cafe and Coffee
of Order Mistakes



The Most Persevered Fish Bar Shop
of Order Mistakes



"Happening!" The Ramen Restaurant
of Order Mistakes



A Restaurant that is
Completely Different



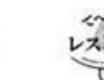
The Cafe
of Order Mistakes



The Japanese Restaurant
of Order Mistakes



The Japanese Cafe
of Order Mistakes



The New Year Restaurant



The Soup Restaurant
of Order Mistakes



The Restaurant of Order Mistakes
- Korea



The Cafe of
Order Mistakes



The Cafe of
Order Mistakes

CHALLENGE

There are currently more than 35 million dementia patients in the world, and the WHO say this will increase to 115 million by the year 2050. With more than a quarter of its population over age 65, Japan is at the forefront of accelerated super-aging. How can Japan lead the world in building new ways for dementia patients to be fully functioning and valued members of society?

IDEA

A limited period pop-up restaurant, where all waiting staff were dementia patients, was opened. Named "The Restaurant of Order Mistakes", the restaurant positioned itself as a fun and open place, where wrong orders were accepted with open non-judgment. During the pop-up period, 37% of all orders were "mistaken", but a staggering 99% of participants said they enjoyed the experience.

JOIN THE MOVEMENT

Restaurants, cafes, ramen noodle shops... People across Japan and even South Korea, China and Canada have taken this idea onboard and started their own initiatives.



STARBUCKS®



どらや



RESULT

Although 37% mistakes occurred, 99% answered they do not mind.
(341 respondents)

A REALITY TV SHOW ON CHANNEL 4

Spring 2019, UK TV Network Channel 4 will be following and filming The Restaurant of Order Mistakes to spread the message of our activities even further afield.

A JAPAN FIRST. OFFICIAL EMPLOYMENT OF DEMENTIA PATIENTS.

In March 2019 an event was held at the Ministry of Health, Labour and Welfare staff canteen in Tokyo. Among the many civil servants who attended, was the Minister himself. This event became the first example in Japan of dementia patients living in nursing care homes being employed in an official capacity.

ダイアログ・イン・ザ・ダーク

DIALOG

IN THE

DARK

コロリド とは



国境や世代を超えて楽しむための
コミュニケーションツール。

coloridoh（コロリド）は、ねんど遊びをするようにクッキーの形を作る段階から焼き上がる匂い、焼けた時の感動、味わいなど、全てのプロセスを通じて会話を楽しむためのコミュニケーションツールです。

開発のこだわりは
「全ての人と一緒に楽しめるように」

アレルギーやヴィーガン対応は、「食」を一緒に楽しむ体験の機会を大切にしたいから。クッキー生地にしたのは、クッキーが多くの国で愛されているから。簡単、安全、楽しいをコンセプトに、多くの人に楽しんでもらいたい想いを込めました。

FOOD x PLAYFUL

coloridohの特徴

参考価格：

coloridohクッキー生地6色セット（4～6人分）

¥3,520 税込

安心・安全

- グルテンフリー
- アレルギー指定28品目不使用
- ヴィーガン対応
- 白砂糖不使用
- 保存料不使用
- 合成着色料不使用

簡単

- 生地の状態なので計量不要。すぐに遊べる
- 準備、後片付けが簡単
- 常温6ヶ月保存ができるので、保管がラク！

楽しい

- 色と味は無限大に作れる
- 6色、6つの味や匂いが楽しめる
- カラフルだから、好きなものが作れる

青/ブルーベリー味 黄/バナナ味
白/レモン味 緑/メロン味
赤/ストロベリー味 茶/ココア味

国際特許出願中

